



映画「**ロッカーズ**」1978年/ジャマイカ/99分

色鮮やかに蘇る 1970年代のレゲエミュージック・レゲエファッション・ラスタ。
当時の有名レゲエ・ミュージシャンたち自らの出演で描いたドキュメンタリータッチの
ジャマイカンストーリー。

Story

「オレたちの奏でるレゲエこそがロックだ！だからオレたちはロッカーズだ！！」

ジャマイカで音楽活動のかたわら、中古バイクを購入してレコード販売を始めたレゲエドラマー。
そんな中、バイクを盗まれてしまい取り返しに行くが……。ラスタで繋がる頼れる仲間たちと街中
を巻き込んだ騒動の行方は？

当時レゲエ・ミュージックに込められていた若者たちのメッセージを表現した青春ストーリー。

Film Maker and Cast

【STAFF】

製作: Patrick Hulsey	パトリック・ホージー
脚本 & 監督: Theodoros Bafaloukos	セオドロス・バッファルーコス
撮影: Peter Sova	ピーター・ソヴァ
美術: Lilly Kilvert	リリー・キルバート
録音: Nigel Noble	ナイジェル・ノーブル
編集: Susan Steinberg	スーザン・ステインバーグ
衣装: Eugenie Bafaloukos	ユージニー・バッファルーコス

【STARRING】

Leroy "Horsemouth" Wallace	リロイ・ホースマウス・ウォレス
Richard "Dirty Harry" Hall	リチャード・ダーティ・ハリー・ホール
Jacob Miller	ジェイコブ・ミラー
Gregory Isaacs	グレゴリー・アイザックス
Burning Spear	バーニング・スピア
Kiddus I	キダス・アイ
Robbie Shakespeare	ロビー・シェイクスピア
Manley "Big Youth" Buchanan	ビッグ・ユース

Products Information

リロイ“ホースマウス”ウォレス、ジェイコブ・ミラー、グレゴリー・アイザックス、キダス・アイ、バーニング・スピア、ビッグ・ユース、リチャード“ダーティ・ハリー”ホールなどなど スクリーンが開いた瞬間から次々とまるでファッションショーのランウェイを歩くモデルたちのように、度肝を抜かれるようなレゲエ・ミュージシャンの面々が登場する。それも演奏や歌唱シーンだけでなく本名で役者として演じる姿でそこに現れる。

他愛もないストーリー展開だがそこに仲間、家族、愛、ファッションとシーンをめぐるたび押し寄せてくるラスタファリアニズム。

服を着替える時に帽子も次々と変えていくファッション・スタイル。きっとキラキラして観る現代の若者も少なくないはず。

レゲエ・ミュージックで忘れてはいけない「**ハリー・J・スタジオ**」が映るシーンで興奮。そしてマイクに向かう**キダス・アイ**が帽子を脱いで頭を振るシーンに叫んだ女性も多いらしい。

そのほか映画が封切られてすぐに交通事故で亡くなってしまう**ジェイコブ・ミラー**のホテルナイトクラブでのライブシーンはこの映画の宝物の一つである。

この映画を観てその世界観に触れるだけでいつまでも心に残ってしまう。アメリカ人の**パトリック・ホージー**がプロデュースしたドキュメンタリータッチのジャマイカ映画なのである。

現代のミュージック・シーンにおけるPVはその歌詞からストーリー展開していくものが多い。1978年制作のこの映画は監督/脚本家**セオドロス・バッファルーコス**によると **Rockers** はレゲエより生まれた。当時のレゲエの曲から構成・構築され映像につながっていった映画だそうである。慰めるシーンや怒り、やるせない気持ちを唄う有名な歌詞が当時の若者に強いメッセージを送り、映画館で皆が口々に画面に合わせて唄う光景が見られたらしい。それは現代のPVに通じその合体させ編んだものが、この一つのかげがえのない **Rockers** のストーリーへと広がっていく…

It's Dangerous この映画のサブタイトルにあるように、この制作関係者から撮影当時のジャマイカはかなり治安も悪く何度も命を落としかけたというくらいのかかなりハードな撮影現場だったと聞いた。現代の映画では考えられないような撮影現場なのに **Rockers** の素晴らしいところは画面の中で最後まで一度もいわゆる GUN は火を噴かない。70年代ジャマイカの奇跡絵巻であり制作陣のほかならぬジャマイカ愛であるように思える。

それは後に**ボブ・マーリー**が世に問うてきたレゲエ・ミュージックのメッセージとラスタファリ運動に通じるのではないだろうか。

何度も繰り返し観たい映画であるはずなのに 1980年初上映以来、日本国内劇場で上映されたことはあまりなかった **Rockers**。

デジタル処理を経て今、色鮮やかに蘇り再公開上映される。

過去に観た方、初めて観る方すべての心と身体に刻まれるレゲエ・サウンドとジャマイカとラスタファリアニズム。決して見逃さず貴方の全身に残して欲しい。

そしてみなさん一緒に **REMOVE YA !!**

1978年映画・上映時間:1時間39分 日本語字幕 © Blue Sun Film Company. All Rights Reserved.

ROCKERS公式トレーラーはこちら → <https://www.youtube.com/watch?v=BnZ-EyU7T8>